

日本精神神経学会「精神医学・医療奨励賞」設立趣意書

国立精神神経センター名誉総長であられた島菌安雄先生が平成9年4月9日に亡くなりました。先生は日本の精神医学史の中でも、もっとも傑出した精神科医のひとりであり、長年にわたって精神医学および精神医療の発展を願い、尽力されて来られました。

先生の御功績は数えきれないほどありますが、その代表的なものは以下の通りです。まず国立精神神経センターの開設のために多大の努力を重ねられ、初代総長としてセンターの基盤を固められました。また、公衆衛生審議会精神衛生部会長として精神保健法の制定に中心的な役割を果たし、大きな混乱もなく精神医療における大改革への方向付けを行われました。さらに、多くの優れた精神医学者、精神科医を育成されるとともに、とくに精神生理学を中心とした独創的な研究によって世界的な注目を浴び、この研究領域における今日の発展の基礎を築かれました。そして、当学会学術総会の会長を昭和44年と49年の2回務められたのをはじめ、数多くの国内学会の設立に関与すると同時に、多くの国際会議の会長や組織委員長を務められ、国際交流を深められました。

こうした先生の御功績を称え、先生の生前の御遺志と御家族のお気持ちを尊重して、日本の若い精神医学徒の精神医学と精神医療における功績を顕彰し、さらなる向上発展を奨励するために、日本精神神経学会「精神医学・医療奨励賞」を設立することにいたしました。併せて御家族からの御寄付をこの奨励賞の基金とし、さらにこうした趣旨に御賛同いただける学会員等から広く寄付を募集したいと思いますので、宜しく願い申し上げます。

日本精神神経学会 理事会